



講座 いけ花



健康づくり推進員 パネル展示



絵手紙・習字



文化祭は中止になりましたが、サークルや地域団体の活動発表を過替わりで行いました。いけ花は展示後、写真展になりました。



ひろば 小さなお花



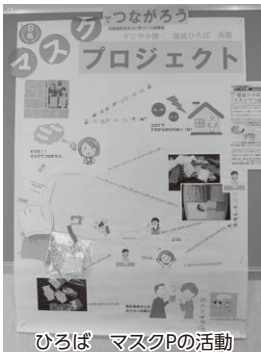
一眼レフの会



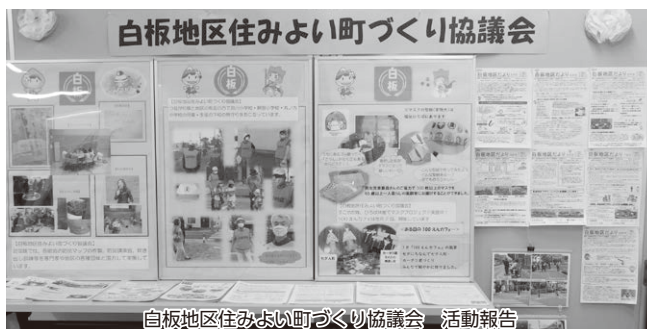
松本市明るい選挙啓発ポスター展



城西町会木目込み人形の会



ひろば マスクPの活動



白板地区住みよい町づくり協議会 活動報告

常念通り

白板地区公民館
館報編集委員会
☎(35) 7740

今年のお月見会は プラネタリウムで

今年のお月見会は、コロナ禍でいつもと違う事業となりました。

松本市教育文化センターに出かけ、プラネタリウムで天体観測を行いました。

今年の中秋の名月は10月1日で翌日が満月との事。10月

上高地公民館・ひろば共催 自然観察・ウォーキング

9月5日(土)、公民館・福祉ひろば共催事業の上高地自然観察・ウォーキングが行われました。最初に釜ヶ淵堰堤を見学し、午後の天候が心配されたので、ウォーキングは、バスターミナルから明神往復に変更して行われました。

自然観察では、花びらに2個の黄緑色の蜜腺がある「曙草」が咲き始めていました。蜜腺には蟻がたかっているのを観ることが出来ました。

白い小花を咲かせる「晒菜升麻」の群生地では、長さ30cmぐらいの穂が、風で揺れ、蝶も飛び交っていました。

春は白い可憐な花を咲かせ、秋には赤い実をつける「御前橘」も観ることが出来ました。

「通り過ぎてしまう足元などゆっくり観察出来て良かった」

29日が十三夜である事。十三夜を見ないのは災いなどが降りかかる謂れがあり片見月にならないようにとの事でした。新月から満月までの軌道を紹介してもらい、いつもと違うお月見会になりました。

又、「十三夜」の別名は「豆名月・栗名月・後の月」などです。

「曙草の蕾がいっぱいあって感動したし咲いた花が美しかった」等の感想が聞かれました。館長は「今しか出合えない植物などがありシーズン中いつ来ても違う出会いがあり、感動や新たな気づきもあるので、楽しいです」と話していました。

午後2時、雷が鳴り響くなか帰途につきました。上高地滞在中は、天候に恵まれ良い一日でした。



アケボノソウと蝶

自治の鐘 丸ノ内中学校

14

新時代

いつもとは違った思い、違った形式になってしまった学芸発表会も終わり、新たな生活の一步を踏みだしました。学芸発表会から一カ月以上が経とうとしています。

今、丸ノ内中学校では生徒会選挙が始まりました。

二学年では二クラスから生徒会長一名、副会長男女一名ずつの三名が立候補しました。それに伴って、それぞれのクラスで準備が始まりました。立候補者だけでなく、クラスのみんなをサポートします。もちろん、たすきやポスター作りも行いますが、それ以上に大切なサポートがあります。それは日常生活をきちんと過ごすことです。あいさつをし、人助けをし、清掃をする事です。当たり前の事です。候補者には心の支えになります。クラスの人のためにがんばろうと思えます。候補者はクラスを引っぱりクラ



います。あいさつは大きな声で誰にでも、人助けは困っている人を見つけたら、助けられる範囲で助け、清掃は身支度、無言の時間一杯、拭きこみ、気づきの五大則を徹底しています。さらに二つの「真心」と「磨心」を心がけたまごころ清掃を大切に行なっています。

今年度からいつもとちがう学校生活を過ごしています。例えば学校行事のほとんどが、中止や延期、形を変えて行なわれています。それでも盛り上げようとがんばって動いてくださった三年生の先輩には感謝しきれません。二学年は全校の中で一番人数が少ない五十八名しかいない学年です。みんなで結束してよりよい丸ノ内中学校にしていきたいです。

令和になって二年、今年は新型コロナウイルスが流行し今まで通りにいかなかったですが、マスクを常に着用したり、ソーシャルディスタンスや三密を気をつけたり新しい生活様式ができました。先輩から引き継ぐことも大切にしながら、新しい事に適応した丸ノ内中学校を創り上げられるよう、これまでも、これからもがんばっていきま

ウォーキング講座

もっと知ろう 白板地区

犀川通船編

9月15日・24日の2回に分け、2日間の参加者12名で文化財、史跡等を巡るウォーキング講座が開催されました。

地域学習テキスト「文化育む町 白板」を教科書に、館長と主事の解説で、町名碑

今町亘理神社、犀川通船の石碑、白板南公民館、北松本車両基地跡地などを巡りました。女鳥羽川沿いの今町亘理神社で白板地区と、この神社との関係や東昌寺が白板宮本にあったことなどの説明がありました。

犀川通船の石碑前では、白板と信州新聞を船に物資を載せて営業しました。営業申

白板地区公民館
城西町 町名碑
巴町 町名碑
折井町 町名碑
今町亘理神社
薬王山東昌寺
旧聾啞学校跡
白板橋
巾上 犀川通船の石碑
三峯神社
ABC横
アルカリ工場跡
子育て地蔵
白板 町名碑
ケヤキ並木
大庄屋折井家と古文書
白板宮本 道祖神
ケヤキ並木
白板公園
北松本車両基地跡地
北松本駅・基地
写真解説
北松本 遺構見学
白板地区公民館

寺社編

10月13日・20日の2回に分け、2日間の参加者10名で文化財、史跡等を巡るウォーキング講座が開催されました。

館長と主事の解説で、木澤の正麟寺(道祖神・川島芳子

の墓・五輪塔、放光寺(町名碑・石碑・道祖神・弁財天)、生安寺(地蔵)、虫歯観音などを巡りました。放光寺の道祖神は少し脇に入った住宅街にあり、建立は明治44年、「村中」と刻印。男

白板地区公民館
城西病院
宮崎町の道標
ちょっと回り道
正麟寺南
正麟寺
川島芳子 浪速の碑
正麟寺 五輪塔
開き松古墳
放光寺 町名碑
放光寺 薬師如来
放光寺 道祖神
山王山古墳
弁財天
生安寺 地蔵清水の地蔵
北部公民館 跡地
鹽竈神社
蟻ヶ崎西 道祖神
虫歯観音
蟻ヶ崎西 町名碑
蟻ヶ崎
旧聾啞学校跡
正麟寺南
白板地区公民館



犀川通船石碑の前

請から94年目に実現し百年余りで幕を閉じたこと、白板南公民館付近に大きな工場があつて高さ35メートルの煙突があつたことなどの解説があり、公民館と裏のアパートがその時の遺構として残っているとの事でした。

参加者からは、「あまりこちらに來ないので新鮮だった」「今町亘理神社と白板の関係を知ることが出来て良かった」「長年の疑問が解決して良かった」等の感想が聞かれました。

女が差し向かい、仲睦まじく手を組み合っている姿を見ることが出来ました。生安寺では、土中から石の地蔵尊が出たしそれが生安寺に祀られた事や、鹽竈神社近くの如意輪観音は片膝をつき頬に手を当てて、物思ふ表情をしている様子から「虫歯観音」として信仰されている事などを知ることが出来ました。



正麟寺五輪塔の前